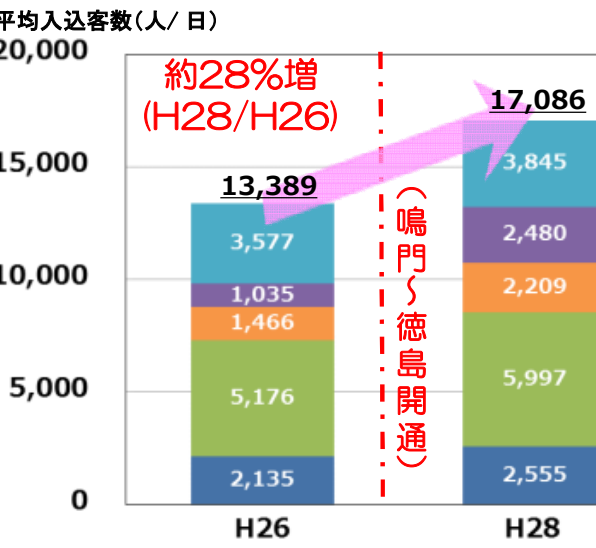


# ■ 高速道路ネットワークが観光振興を支える

## 高速道路ネットワークは、周遊エリアを拡大し、観光誘客による地方創生を実現します！

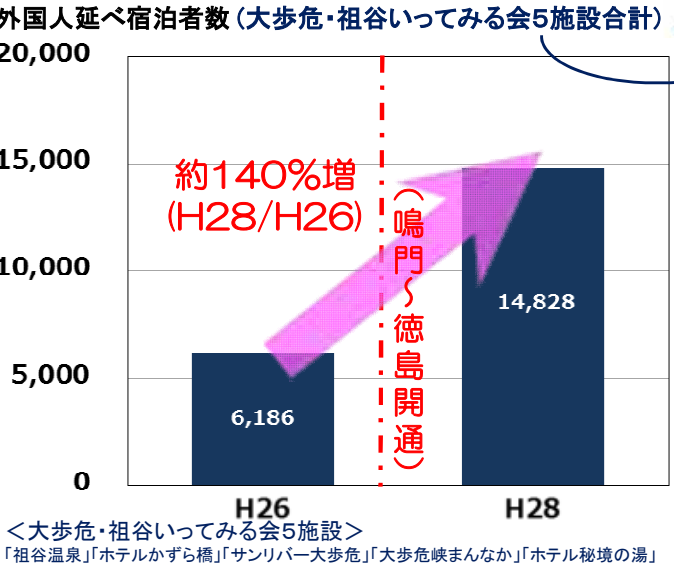
### ◆ 高速道路沿線の観光客が増加！ —GW期間中—



- ① 渦の道
- ② 大塚国際美術館
- ③ うだつの町並み
- ④ 吉野川ハイウェイオアシス
- ⑤ 祖谷のかずら橋



### ◆ 外国人宿泊者も増加！ —インバウンド観光—





# ■ モーダルシフトへの動き(利用者の声)

【徳島県】

**労働時間の基準改正 (H27.9月)**  
 トラック運転時間の基準が改正され、  
 フェリー乗船時間が休憩扱いに！

**東九州自動車道の開通 (H28.4月)**

北九州市  
 北九州～宮崎間の  
 所要時間  
 H24年：320分  
 H28年：255分  
**約65分短縮！**  
 宮崎市  
 至徳島・東京へ

**豊予ルートに注目**

九州 四国  
 別府港 佐賀関港 白杵港 三崎港 八幡浜港

**<八幡浜港・三崎港就航フェリー>**

| 年   | 貨物輸送量 (万トン) |
|-----|-------------|
| H24 | 1,208       |
| H27 | 1,287       |
| H28 | 1,343       |

約10% UP!  
 基準改正 東九州道開通

**新たな物流ネットワーク**

陸路 約850km  
 約630km  
 陸路+海路  
 徳島小松島港  
 徳島自動車道 大型車3割増 (H28/H26)  
 フェリー貨物量 約2割増 (H28.12/H27.12)  
 輸送時間 11.5時間 ⇒ 10.5時間

**トラック事業者の声**

- 海上輸送を組み込むと、  
 ⇒ 走行距離が約200km、輸送時間が約1時間の短縮に  
 ⇒ フェリー乗船中(2.5時間)は休憩扱いに
- さらに、海上輸送によりCO<sup>2</sup>・燃料が削減できる

**広域交通ネットワークの構築**

**陸 四国横断自動車道**  
 H27.3供用 鳴門JCT～徳島IC 松茂スマートIC  
 ・高速道路が本四高速と接続  
 ・松茂スマートICを經由し空港に直結  
 H31年度 徳島東IC開通予定  
 ・高速道路と港が直結 (ICまで3分)

**海 徳島小松島港**  
 H27.3完成 耐震強化岸壁  
 ・就航フェリーが大型化  
 ・フェリー会社の本店が徳島へ

**空 徳島阿波おどり空港**  
 ・1日11往復、機体の大型化

**船会社による新たな投資**

フェリー貨物量 (徳島発着分・12月期)

| 年   | 貨物量 (千トン) |
|-----|-----------|
| H27 | 167       |
| H28 | 203       |

約20% UP!  
 旧フェリー 11,500ト (総トン数) 約120台 (積載台数)  
 新造フェリー 13,000ト (総トン数) 約190台 (積載台数)

**船会社の声**

- 新造フェリーを4隻投入、積極的な営業活動を！
- 高速道路整備と合わせて、四国の海上輸送の拠点に！

**物流ネットワークの効率化**

海上輸送(フェリー)

北九州 ⇄ 徳島 ⇄ 東京  
 シャーシのみ輸送 (無人化航走)  
 北九州～徳島～東京を結ぶ物流の大動脈に!!

**トラック事業者の声**

- 無人化航走により労働時間を短縮し、ドライバー不足の解消へ！
- 海上輸送は荷物の傷みが軽減！
- 船社シャシ利用により空荷輸送リスクが軽減
- 安全性・定時性のため高速道路の4車線化を！